昭和61年8月5日洪水から40年の関連行事

“みず”から守る流域治水のつどいを実施

- 吉田川の堤防が4カ所で決壊し、大崎市鹿島台（旧鹿島台町）地域で甚大な被害が生じた「昭和６１年８月５日洪水」から令和8年で40年が経過。
- 災害から40年の節目となる令和8年8月5日（水）に流域治水の取組をさらに推進するため、りゅうちるネットワークの主催により、“みずから守る”流域治水のつどいを開催。
- 流域の関係者約100名がつどい、40年前を振り返りながら、今後の取組のあり方などについて意見交換を実施。
- 国土交通省からの情報提供では、吉田川の堤防決壊直後の復旧対応や激特事業に従事した元北上川下流河川事務所職員の佐藤慶亀氏が当時の対応状況を振り返えった。



記者発表資料

令和８年８月３日
東北地方整備局
北上川下流河川事務所

昭和61年8月5日洪水から40年の関連行事 “みず” から守る流域治水のつどい

○ 吉田川の堤防が４カ所で決壊し、大崎市鹿島台（旧鹿島台町）地域で甚大な被害が生じた「昭和61年8月5日洪水」から今年で４０年を迎えます。
○ この災害を契機に吉田川では、関係機関によって、水害から地域を守るための様々な取組が進められてきました。
○ 流域治水の取組をさらに推進するため、８月５日の節目に、流域の関係者がつどい、４０年前を振り返りながら、今後の取組のあり方などについて意見交換を行います。

■ 開催日時、場所
・ 開催日時：令和８年８月５日（水）10時～13時
・ 開催場所：吉田川志田谷地防災センター
・ 主　　催：りゅうちるネットワーク

■ 次第（予定）
1. 開　会
2. 挨　拶
3. 祝　辞
4. 関係機関からの情報提供
・ 国土交通省からの情報提供では、吉田川の堤防決壊当時、復旧対応に従事した職員が当時の対応状況を振り返ります。
➢ 元　北上川下流工事事務所　工務第一課　職員　佐藤（さとう）　慶亀（けいき）　氏
5. 意見交換
6. 閉会

《添付資料》
・【別添】 “みず” から守る流域治水のつどい　案内

《発表記者会》
石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門紙記者会

<問い合わせ先>
国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所
〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80　TEL 0225-94-9847（直通）
流域治水課長　磯邉（いそべ）　則親（のりちか）（内線３５１）

【実施概要】
日時：令和8年8月5日（水）　10:00～13:00
場所：吉田川志田谷地防災センター
来場者：多くの方々（自治体の関係者や市民：約100人）

関係機関からの情報提供





元 北上川下流工事事務所 工務第一課 職員
佐藤 慶亀 氏

40年前の堤防の決壊を知らせる半鐘の音を再現

